

平成26 年度（ 25 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 26 年 10 月 30 日

1 事務事業 の 現状 (DO)	事務事業名	No. 580401	図書、逐次刊行物（新聞・雑誌等）等整備事業				主管課名	教育行政課				
	この事務事業 の位置	政策	誰もが健康で生きがいのある暮らし				課長名	深谷 幸広				
		施策	文化・芸術に親しみ、育むまち									
		基本事業	図書館の整備									
	(1)事業の概要											
	多様化する市民ニーズに対応できる情報の提供と生涯学習時代の到来に則した計画的な図書館資料の整備（図書の購入、更新、登録、配置）を行う市民の知る権利をみとすため、図書館法に基づき、計画的な蔵書更新、収集が必要不可欠である。複合施設の図書の計画的な整備のため、複数年度に渡り、資料整備を行う。					(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)						
						名 称		単 位				
						図書等購入冊数		冊				
						除籍図書冊数		冊				
						蔵書冊数		冊				
					その指標							
(25年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)		利用者のニーズに応え、最新の文芸書や、注目されている分野、新たに発生した事件に関する図書を購入した。また、既に登録した図書・雑誌などについても、配置場所(正しい位置にあるか、見やすく取り出しやすいか、など)や資料状態(汚破損の有無)の確認を行い、常に館内奉任に対応できる状態にした。										
26年度計画	前年と同様 変更あり	変更内容										
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)					(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)							
購入図書 リクエスト図書(新規購入・予約・他館借受)					名 称		単 位					
					購入図書(選定・リクエスト)		冊					
					リクエスト図書受付数		冊					
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)					(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)							
多様な市民ニーズに応えられる蔵書構成ができるようにする。図書を充実させ、利用者に満足してもらう。					名 称		単 位					
					入館者数(実数)/人口(中央)		%					
					図書利用者/入館者数(中央)		%					
(4)結果(上位基本事業の意図)					(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)							
利用しやすい図書館サービスを充実し、教養や知識を得てもらう					名 称		単 位					
					市民1人当たりの図書利用冊数		冊					
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標	年度	単位	24年度実績値	25年度実績値	26年度計画値	27年度目標値	28年度目標値	29年度目標値				
(5)の活動指標		冊	7,586	7,240	7,400	12,000	12,000	13,200				
		冊	5,448	13,120	15,000	7,000	7,000	7,000				
		冊	166,145	160,582	159,200	164,200	169,200	175,400				
(6)の対象指標		冊	7,586	7,240	7,400	12,000	12,000	13,200				
		冊	14,794	14,045	15,000	15,000	30,000	30,000				
(7)の成果指標		%	149.6	146.1	149.5	148	439.7	435.5				
		%	42	43	42	42	60	60				
(8)の結果の成果指標		冊	5.3	5.4	5.3	5.3	10.4	10.3				
(10)予算費目		会計	01 一般会計				款	10	項	05	目	04
(11)コスト		年度	24年度実績値	25年度実績値	26年度計画値	27年度目標値	28年度目標値	29年度目標値				
事業費(決算又は予算額)		単位	10,126	9,963	10,254	41,977	37,969	34,900				
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0				
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0				
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0				
	その他	千円	0	0	0	40,000	0	0				
	一般財源	千円	10,126	9,963	10,254	1,977	37,969	34,900				
人件費B		千円	4,144	4,078	4,078	4,078	4,078	4,078				
正職員従事時間×人数		時間×人	275×4	275×4	275×4	275×4	275×4	275×4				
正職員以外の人件費		千円	0	0	0	0	0	0				
その他費用C		千円	47	47	47	47	47	47				
トータルコストA+B+C		千円	14,317	14,088	14,379	46,102	42,094	39,025				
単位あたりコスト		千円/冊	2	2	2	4	4	3				
(トータルコスト/(6)の対象指標)		千円/冊	1	1	1	3	1	1				

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名	No. 580401	図書、逐次刊行物（新聞・雑誌等）等整備事業		
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？		(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？		
	昭和53年4月 図書館開館当初 から		新図書館への移転に向け、図書資料の整備が必要		
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？				
図書館法の基本理念に基づく。開館当初からの方針による。					
(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？					
変化していない					
変化している		変化し出版流通の悪化が止まらない。利用者のニーズは増加・多様化しつづけている。			

3 評価（SEE）	目的 妥当性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務	→	根拠法令	法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する	
		自治事務	→	根拠法令	図書館法	この事務を行う根拠又は理由 第1条に基づく	
		(2)この事業の意図は結果（基本事業の意図）に結びつきますか？	結びつく		理由		
		結びつかない	→				
	(3)対象を見直すこと（対象の拡大又は縮小）はできませんか？	できる	→	拡大	内容		
		できない	→	縮小			
	(4)意図を見直すこと（意図の追加・拡充（意図の段階は正しいか）又は絞込み）はできませんか？	できる	→	追加	内容		
		できない	→	絞込み			
	有効性	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい		理由 又は 内容		
			多少影響がある	→			
		影響はない	→				
(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ 1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できる	→	理由 又は 内容	提供に必要な環境（施設の規模・能力）が人口の増加に追いつかないので向上できない。			
	できない	→					
(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	ある	→	庁内事業	類似事業名			
		→	庁外事業				
	ない	→		類似事業との再編の可能性	ある	内容	
(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？（仕様や工法の変更、住民の協力など）	ある	→		内容			
	ない	→					
(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？（従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？）	ある	→		内容			
	ない	→					
公平性	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	ある	→	内容			
		ない	→		現状で適正		
		ない	→	検討が必要			
		受益者がいない	→				

4 改革改善案（PLAN）	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
		コストの方向性	増加	事業費の方向性	増額	成果の方向性	向上
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど	利用者の求めるものと図書館として必要なものとのバランスを考えて、限られた予算の中でより良い資料の整備を行わなければならない。 そのために資料についての研究や、幅広い分野からの情報収集に努めなければならない。 （仮称）図書館学習交流プラザ開館予定（平成28年度）					